

用語一覧

【別紙Ⅰ－1】

1. 一般的な定義と同義の用語

用語	説明
プロジェクト	特定の対象範囲に対し、特定の目的、目標を実現するために、特定の期間に実施する作業のまとまりをいう。本ガイドラインにおけるプロジェクトは、情報システムに関わるものを指す。 なお、必要に応じ、作業の管理を適正に行うために一つのプロジェクトを階層化し、それぞれをサブプロジェクトとして扱うことができる。
マスタスケジュール	プロジェクトの開始から完了までに必要な作業を洗い出し、それらを順序付けたもの。
WBS	Work Breakdown Structureの略。プロジェクトマネジメントで利用される計画手法の一種で、プロジェクトにおける作業を細かい単位に分割し、階層構造などで管理する手法。マスタスケジュールに基づきWBSを作成する。WBSは作業に対する役割分担・成果物等の明確化及び進捗管理に活用できる。
マイルストーン	プロジェクトにおいて重要な意味をもつ時点やイベントのこと。
パッケージ	特定の業務あるいは業種で一般的に必要な機能をまとめた既製のソフトウェアのこと。
スクラッチ	情報システムに求められる要件に対して、パッケージを利用せず、独自開発すること。
特定調達契約（WTO）案件	物品の購入・借入や特定のサービスや建設工事などの調達において国際的なルールとして定められている「WTO政府調達協定」の対象となる案件。三重県の調達においては、地方政府機関としてWTO政府調達協定の定める基準額を超える想定の場合に対象となる。基準額については2年毎に見直されている。
TRM	「技術参照モデル（TRM：Technical Reference Model）」」。独立行政法人情報処理推進機構（IPA）により提供される調達に必要な技術情報をまとめたもの。政府の指針に従った公平なITシステムの調達を支援するために、典型的なシステム構成モデルや、特定企業に依存しない機能要件・非機能要件の記述例などが提供されている。
機能要件	業務要件を実現するために必要な情報システムの機能。 （例：画面要件、帳票要件、データ要件等）
非機能要件	情報システムが備えるべき機能要件以外の情報システム要件。 （例：規模要件、性能要件、信頼性要件、運用要件、保守要件等）
アプリケーションバグ	OS上にインストールして利用する特定の目的のために作られたソフトウェア全般のこと。 アプリケーションが意図しない動きをすること、プログラム等に含まれる誤り。
アクセシビリティ	誰でも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること。
スループット	コンピュータやネットワーク機器が単位時間あたりに処理できる処理能力。具体的にはデータ量、データ転送速度などを示す。
ターンアラウンドタイム	端末等において入力を開始してから、処理結果の出力が完了するまでの時間。主にバッチ処理システムの性能評価に使用される。
応答時間（レスポンスタイム）	端末等において入力完了してから、処理結果の出力が開始されるまでの時間。主にオンライン処理システムの性能評価に使用される。
レビュー	成果物の品質や実施状況等の確認又はその承認を行うこと。
ステータス	状態、状況。

2. 三重県における定義を定める用語

用語	説明
ITガバナンス	組織が行うITに関わる企画・構築・運用等のすべての活動及び関係者を適正に統制し、目指すべき姿へと導くための仕組みのことであり、三重県においては、デジタル戦略推進委員会等の三重県IT利活用推進体制、予算要求前審査及びシステム評価等の支援・審査・評価制度によって、三重県の情報システムにおける全体最適を実現するための仕組みのこと。
ITマネジメント	情報システムのライフサイクルにおいて、三重県の各システム担当所属が予算要求や調達手続き等のPDCAサイクルを繰り返すことにより継続的に情報システムを用いた業務を運営・改善すること。
情報システムのライフサイクル	情報システムの企画から構築、運用、評価・見直しまでの一連の流れのことであり、三重県においては、システム構想の検討、予算要求、調達、設計・開発、運用・保守、評価の各プロセスのこと。
情報システムのライフサイクルに対応したPDCAサイクル	システム担当所属が情報システムのライフサイクルの適切な時期に応じて、支援・審査・評価制度を活用することにより、継続的に情報システムの運営・改善を行う取組のこと。
システム担当所属	情報システム整備の実施主体であり、プロジェクトを所管する部署。
ユーザ所属	システム担当所属を除いた、情報システムの利用者が所属する部署。
三重県行政WAN	三重県の全庁的な行政用ネットワーク。
大規模システム	次に掲げる条件に該当するシステムを大規模システムとして扱う。 （1）過去5年間のシステム投資額が1億円以上となるシステム （2）庁内システムに対して共通的にサービスを提供するシステム （システムを共通基盤と位置付け、前述5年間のシステム投資額にかかわらず、大規模システムとして扱う）
中小システム	大規模システム以外の情報システム。
プロジェクト管理	情報システムに係る調達の契約締結後から契約期間満了までにおいて、進捗や品質など、プロジェクト実行状況を管理すること。
課題解決支援	予算要求前支援等がシステム担当所属からの希望に基づき支援が行われるのに対し、課題解決支援ではシステム評価結果を受けてシステム担当所属が希望する場合に支援が行われる。

3. 本ガイドラインにおける定義を定める用語

用語	説明
再構築	既存情報システムの最適化等を目的に、当該情報システムの構成・業務範囲等、抜本的な見直しを行うための、システム開発及び環境構築等、一連の行為のまとまり。
更改／更新	ハードウェア、ソフトウェア製品、アプリケーションプログラム等の入替え又はその入替え時に発生する一連の行為のまとまり。
機能改修	開発された情報システムについて、設計された仕様を変更又は追加し、当該情報システムに改変を加える行為。
基本設計	委託事業者が調達仕様書の要件に基づき、機能・画面・帳票等の機能要件の設計や、システム方式・システム運用等の非機能要件を設計する工程。 ＜成果物（例）＞基本設計書（機能一覧、画面一覧、帳票一覧、システム方式設計書等）
（要件定義）	要件定義について、本ガイドラインでは契約前の段階でシステムへ要求する仕様（要件）を県が調達仕様書として確定することを要件定義とし、契約後に実施する要件定義の確定のための工程は基本設計工程にて検討する位置付けとしています。
詳細設計	委託事業者が基本設計に基づいて要件をより詳細に定義し、開発に向けたシステムの内部構造や仕組を設計する工程。 ＜成果物（例）＞詳細設計書（画面設計書、帳票設計書、環境設定定義書等）
開発	委託事業者が詳細設計を基にプログラムを開発する工程。 ＜成果物（例）＞ソースコード、実行プログラム等
単体テスト／結合テスト／総合テスト	委託事業者が基本設計・詳細設計で定義した内容をシステムが満たしていることを検証する工程。 単体テストではシステムを構成する最小単位のプログラムに対する検証、結合テストではプログラムを結合した処理単位での検証、総合テストでは各処理及び業務運用シナリオに基づく本番同等環境での検証という流れで、段階的な検証を行う。 ＜成果物（例）＞テスト計画書、単体テスト結果報告書、結合テスト結果報告書、総合テスト結果報告書等
受入テスト	調達仕様及び設計内容がシステムに反映されているかを、実際の業務の流れに沿って確認することで、システムを用いた業務運用が遂行できるかを、県が主体となって検証する工程。 ＜成果物（例）＞受入テスト計画書、受入テスト実施結果